

生命保険見直し術

「保険会社が破綻したら…」



晩秋の候、皆様いかが御過ごしでしょうか？
季節は秋ですが、保険業界は冬の時代が到来しております。千代田生命、協栄生命が破綻し、保険契約はどうなるのか関心の高いところと思います。今回は保険会社が破綻した場合の契約者保護の仕組みについて見てみます。

生命保険会社の破綻はなぜ続く？

生命保険会社の破綻の主な原因は逆ザヤです。逆ザヤは契約者に支払いを約束している利回り（予定利率）を実際に資産を運用して得られる利回りが下回る状態をいいます。生保商品は契約時に約束した利率を契約解消時まで変更できません。そのためバブル期の高利回り商品が現在の株価低迷、土地下落等により運用利回りが急低下し、逆ザヤが発生し破綻に追い込まれることになりました。

保険契約者保護の仕組み

日本国内では保険会社全社が加入している生命保険契約者保護機構、損害保険契約者保護機構があります。保護機構は契約に対する資金援助や子会社を設立して契約を引受けます。しかし、契約は全額補償されません。補償はおよそ対象契約の9割程度となります。また貯蓄型で過去に高い予定利率が約束されているものなどは予定利率の引き下げもありうります。その結果保険金が削減される可能性が高いです。

健全性はどこで見える？

保険会社の健全性とは将来にわたって保険金の支払い能力があるかどうかです。その判断材料の1つがソルベンシー・マージン比率（図1）です。これは保険会社の体力を示す指標であり、一般的に数値の高い会社が体力があるとされます。また、格付機関による財務格付も参考となります。以下にソルベンシー・マージン比率・財務格付を参考までに列举いたします。（図2）

図1

$$\text{ソルベンシー・マージン比率} = \frac{\text{支払余力}}{\text{リスク}} \times 100$$

図2

日本生命	1095.8	Aa3	太陽生命	1050.3	Baa2
第一生命	865.6	A3	大同生命	1004.2	A3
住友生命	675.7	Baa2	富国生命	906.5	A3
明治生命	731.0	A2	東京生命	446.7	B3
朝日生命	732.7	Baa3	アリコジャパン	1185.9	Aaa
安田生命	808.5	A2	アメリカンファミリー	700.8	Aa3
三井生命	676.7	Baa3	INVひまわり生命	896.1	A1

Aaa

Aa1～3 ↑ 高い

A1～3

Baa1～3

Ba1～3

B1～3 ↓ 低い

Caa1～3

以上保険会社が破綻してしまった場合と保険会社の見極め方の1例を説明させていただきました。生命保険、損害保険も自ら選んで加入する時代となりました。1度ご家族で加入中の保険を見つめ直してみたいいかがでしょうか。保険のことはお気軽に当事務所までご相談ください。

担当 渡木 洋子